

音楽 和楽器調べについて

1. 時間 4時間扱い

2. 場所 図書室…座席は出席番号で。(机の場所は指定、班内の席は相談して決める。)

3. 目的 自分の選んだ和楽器について調べ学習に取り組み、一人一枚「レポート」を仕上げる。
普段触れることの少ない和楽器に慣れ親しむ。

4. 用意するもの…音楽の教科書、筆記用具(色ペンなども可)

5. 方法(進め方) 別紙二枚(マンダラート・ワークシート)を利用して、記入しながら取り組みを進める。
()の数字がワークシートに対応している。

(1) 取り組む**楽器分類を選ぶ** ⇒班でくじ引きを引いて3つの中から決定する。

- ・「例」を参考にして、決定した分類をマンダラートの一番上に記入する。
- ・aをマンダラート(1)の中心に記入する。

(2) 取り組む分類が決まったら、次は**楽器を絞り込む**。

- ・マンダラートの①を行い、その結果をマンダラート(2)の中心bに記入する。
- ・bに記入した言葉と同じ言葉を、ワークシートの(2)に記入する。
- ・次にマンダラートの②を行う。

(3) 決まった楽器について、例を参考に**関連する言葉を書いていく**。(2~3人のグループで出し合う)

- ・書けたら調べたいことに○をつける。

【アドバイス】楽器の選び方は？関連する言葉の探し方は？

決定した分類の中で、自分が「知りたい」「調べたい」「疑問に思うことがある」「興味が持てる」と思う楽器を探す。

さらに本の目次などを参考にして関連する言葉を探す。

《(2)(3)を選ぶための参考資料》

- ・音楽の教科書(中学生の音楽1、器楽)
- ・各班に置かれている本

(4) マンダラート②を参考に、選んだ楽器について自分の調べたいことに合わせてさまざまな角度から検討し、調べる内容を3つ決定する。

- ・マンダラート(3)の指示を見て、例を参考に取り組み。このとき疑問文の形(最後に?がつく形)であらわしてみる。
- ・ワークシート(3)にも同じ文を記入する。

【アドバイス】調べることが思いつかない人はどうする？

ここで行き詰ってしまったら、(2)まで戻って考え直してもよい。その場合、新しい用紙を高橋先生にもらう。また、本を参考にして調べることを探してみる。

(5) 自分の問いの答えを探し自分の決めた**和楽器について調べる**。

- 考えた調べることについての資料を探し、自分の問いの答えに近づくことのできる情報を見つける。
- 見つけた情報は、一つの問いについて一枚の情報カードを使い、記入する。
- 情報カードはワークシートのポケットに入れて保存、提出をする。

※調べる内容は【自分で選んだもの3つ + 選んだ楽器の音の特徴】

「音の特徴」は、CD（無い場合にはインターネット）で音を聞き、本で調べたことにプラスして、聞いた自分の考えを必ず記入すること。

【アドバイス】資料がどうしても見つからないときには？

資料がどうしても見つからないときには、司書の高橋先生に相談する。

(6) レポートにまとめる。

- 自分の問いの答が集まったら、それを整理、分析して上手に使い、選んだ楽器についてまとめ、レポートにする。
- レポートの真ん中の○にはその楽器の絵を必ず書くこと。

6. 時間の使い方のめやす(これにとらわれて焦らずに、自分の進度で進めること)

〈夏休み前〉

1 時間目…(1)～(3)まで終わらせる。

2 時間目…(4)～(5)の途中まで終わらせる。

〈夏休み中〉

必要な資料を、街の図書館やインターネット等を使い集めておく。

〈2学期〉

3、4 時間目…(5)～(6)で、レポートを仕上げる。

音楽 和楽器調べワークシート

1年 組 番 氏名

(1)調べる楽器の分類(決定した分類を○で囲みましょう)

管楽器 ・ 弦楽器 ・ 打楽器

→「例」を参考にして、選んだ分野をp.7のマンガラートの一番上に記入しましょう。
→aをマンガラート(1)の中心に記入しましょう。

(2)調べる楽器を絞り込んで下に記入しましょう。(マンガラートのbを記入しましょう。)

(3)【(2)で選んだ楽器について】関連する言葉を班の2～3人で調べ、マンガラート(2)に記入しましょう。

(4)【マンガラート(2)をもとに】bの楽器をさまざまな楽器から検討してさらに「問い」(調べること)を三つ以上考えて、マンガラート(3)に記入しましょう。

(マンガラート(3)を行い、決定した「調べること」をもう一度下に記入してください)

なお、調べることとして「音の特徴」をこちらから指定します。

①

②

③

④

音の特徴

(5)【(4)で考えた調べること】について、一つの問いごとに一枚の情報カードを使って調べることを関係する内容をまとめましょう。情報カード(完成したもの、未完成のものもすべて)は、このワークシートのポケットに入れて保管しておいてください。

(6)【(5)で集まった情報カード】を整理・分析して、レポートを完成させましょう。

レポート記入例

管楽器・弦楽器・打楽器のうち、自分の調べることになったものを記入する

自分の調べる和楽器の名前を記入する

和楽器調べ		1年	組	番
【分類】：	【楽器名】：	名前：		
<p>↑</p> <p>ここには自分で決めた「調べること」を記入する</p>		<p>ここには、調べた内容を書く。自分の言葉で、具体的に、分かりやすく書くこと。一つの本に書かれた内容だけでなく、いくつかの本の内容をまとめると良い。</p>		
		<p>ここには選んだ楽器の絵を自分で描く。楽器の特徴が分かるように丁寧に描くこと。</p>		
		<p>「音の特徴」は全員調べること。その際、CDなどで必ず音を聴く。</p>		
		音の特徴		

【参考文献】

本は『著者名』『書名』『出版社』『出版年』を書く。

例) 西川浩平「和楽器の世界」河出書房新社 2008年

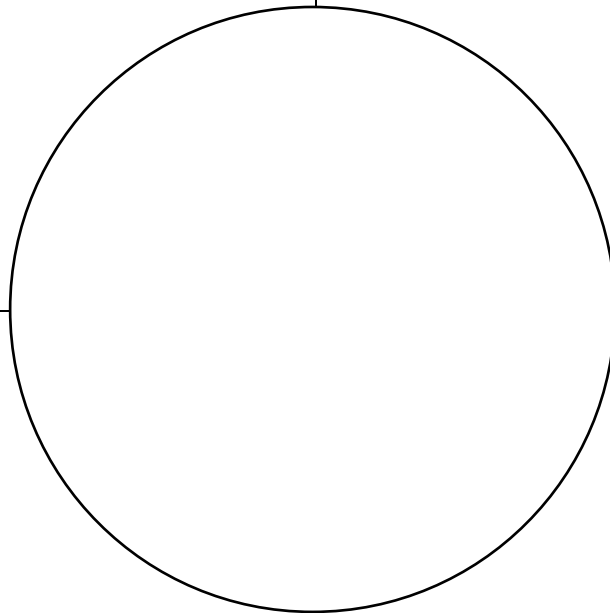
ウェブサイトは『著者名(制作者)』『webページ名』『webサイト名』『URL』『アクセス日』を書く。

例) 日本芸術文化振興会「日本の伝統音楽」文化デジタルライブラリー (<http://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/>) 2018年 月 日

【分類】：

【楽器名】：

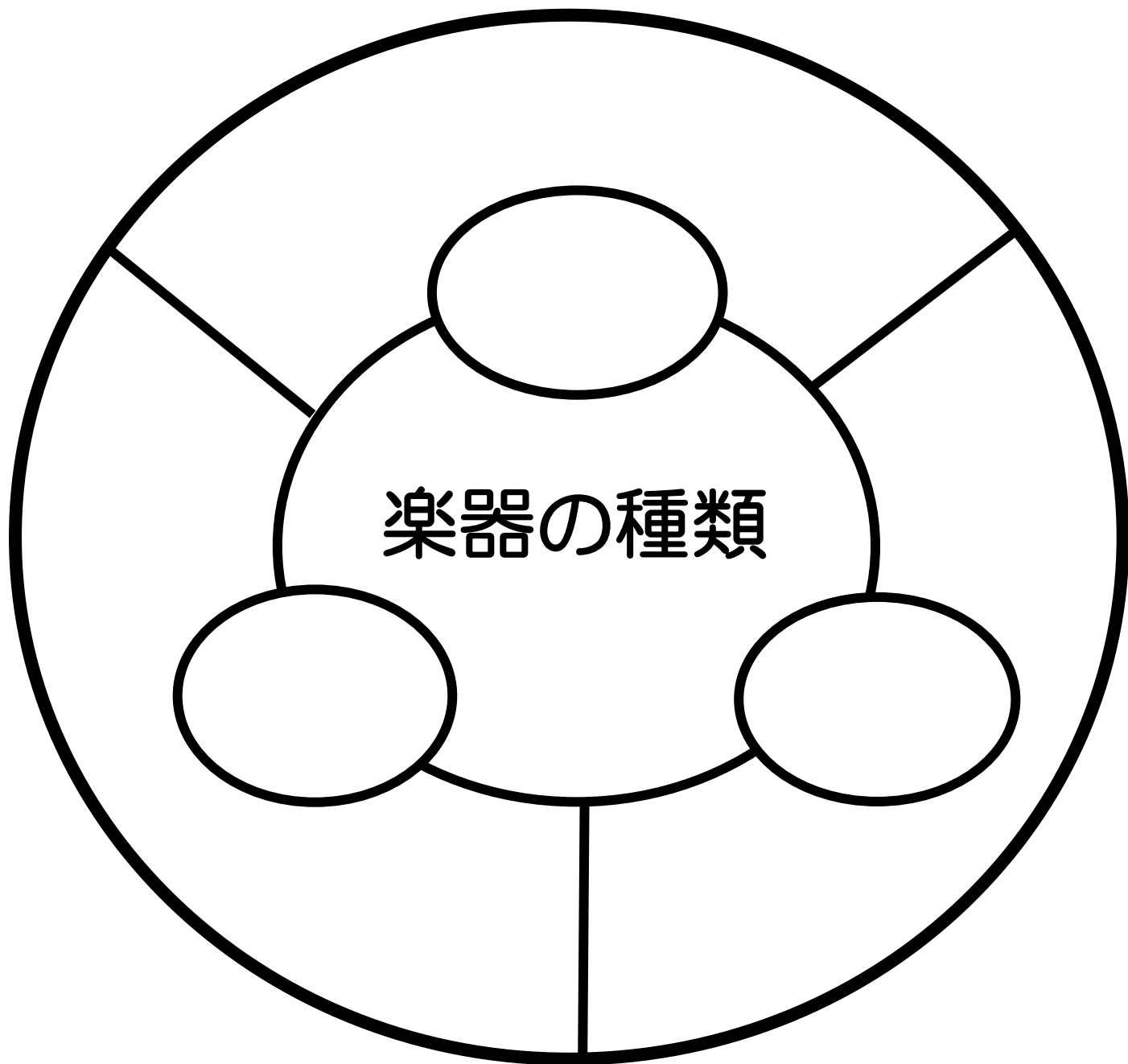
名前：



音の特徴

【参考文献】

～楽器の種類～



1年 組 番 名前：

【和楽器調べ 授業計画】（詳細は以下に示す生徒用ワークシートに記載）

時間	内容	備考
(事前指導)	<p>①次回より和楽器調べを行うことを伝える。</p> <p>②ワークシート「和楽器の種類」を使い、管楽器・弦楽器・打楽器という3分類とその特徴について確認をし、それぞれを代表する主だった和楽器を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート「和楽器の種類」を使用 ・種類と楽器名を書いたカードを使う
1時間目	<p>①オリエンテーション 「和楽器調べについて」を読みながら、ねらいや今後の全体的な流れなどについて確認をする。</p> <p>②楽器分類を選ぶ（班ごとのくじ）</p> <p>③調べる楽器を決める（個人）</p> <p>④調べる楽器に関連する言葉を探す</p>	<p>マンガラートやマップの作成方法や作成のための資料活用方法については、「文房具」を例に説明を行った。</p>
2時間目	<p>①前回終わっていない部分を終わらせる</p> <p>②調べる内容を決める 前回の④で作成したマンガラートを参考にマップを作成し、調べる内容を3つ決定する。</p>	<p>マップを作成する際には、2～3人でお互いにインタビューを行い、視野を広げることで内容を深める。</p>
3時間目	<p>資料を活用し調べる 調べた内容は情報カードに記入する。 CDやインターネット等を活用して必ず楽器の音を聴き、「音の特徴」をまとめる。</p>	<p>情報カードについての説明を行う。情報カードはワークシートの冊子の最終頁に貼った封筒に入れて保管する。 資料は書籍のほか、PCやiPadを使ってインターネット（文化デジタルライブラリーを利用）で収集。</p>
4時間目	<p>レポートにまとめる 指定のレポート用紙に調べたことをまとめる。 必ず楽器の絵を書く。</p>	